

各地の事例

●書籍『里山資本主義 ー日本経済は「安心の原理」で動く』

藻谷 浩介（もたに こうすけ、地域エコノミスト）とNHK 広島取材班との共著

里山資本主義とは？

里山には、代々の先祖が営々と育んできた、自然と共に生きるシステムがあります。そのルールを守っていると、いまの時代でも、水と食料と燃料、それに幾ばくかの現金収入がちゃんと手に入ります。新鮮な野菜に魚、おいしい水、火を囲む楽しい集まり、そして地域の強いきずな。

都会であくせくサラリーマンをやっている人間よりも、里山暮らしの人間の方が、お金はないけど、はるかに豊かな生活を送っているということを、私は各地で実感しています。

つまり里山にはいまでも、人間が生きていくのに必要な、大切な資本があるのです。これはお金に換算できない、大切な価値です。そうした里山の資源をいかしていくことを、「里山資本主義」という言葉を使って伝えようとしたのが、NHK 広島局がつくる「里山資本主義シリーズ」でした。シリーズは最終回を迎えましたけど、「里山は見えない資本なんだ」「お金に換算できない大切なものなんだ」ということを、これからも言うて歩こうと思っています。

藻谷 浩介（もたに こうすけ）、地域エコノミスト。

NHK 広島取材班と共著で『里山資本主義 ー日本経済は「安心の原理」で動く』を出版

（以上、右記 HP より）<http://www.nhk.or.jp/eco-channel/jp/satoyama/interview/motani01.html>

【事例】

- ・広島県庄原市（エコストーブ、間伐材を燃料にした炊飯のできる）
- ・岡山県真庭市（製材所の木屑で発電、売電。町で消費するエネルギーの11%を賄う）
- ・オーストリアでの森林資源の活用（ペレット利用、強度の増した木製の建築材）

=====

●「置賜自給圏推進機構」

山形県の南部に位置する置賜地域。ここを一つの「自給圏」ととらえ、圏外への依存度を減らし、圏内にある豊富に存在する地域資源を利用、代替していくことによって地域に産業を興し、雇用を生み、富の流出を防ぐ。このような経済の好循環を生み出すために設立されたのが「一般社団法人 置賜自給圏推進機構」です。

皆さん一人一人のほんの少しの工夫と行動で地域社会は大きく変わるはず。真に豊かな未来に向けて、共に考え歩みだしましょう。

「自治体単位の自給圏の構想は今までもあったが、広域連携での自給圏の構想、推進は日本初の試みではないか」とメディアからも関心が寄せられています。

（以上右記 HP より）<http://www.okitama-jikyuken.com/>

=====

●農作物直売所、人気急上昇 売上高35億円 日本一の「伊都菜彩」 福岡

2014.1.17

生産者が運び込んだ野菜や果物を販売する「直売所」の人気が高まっている。新鮮さに加え、生産者の顔が見える安心感が消費者の購買意欲をかき立て、スーパーやディスカウントストアに続く生鮮食品の新たな販路として地位を確立した。農家にとっても収入増と6次産業化の推進につながると期待されている。（津田大資）

（以上、右記 HP より）<http://sankei.jp.msn.com/region/news/140117/fkk14011703080000-n1.htm>

●名古屋NGOセンター・TPP 自主勉強会

「へっちらネット」の活動 (<http://tpp-nagoya.greenwebs.net/>)

TPP をきっかけとして、地域自立を目指す東海地区のネットワーク。市民と政府のTPP 意見交換会 愛知・岐阜実行委員会としての活動も兼ねる。

勉強会ミーティング

名古屋NGOセンターでは、TPP交渉の背景や内容、進捗について理解しようと、関心ある誰もが集まれる自主勉強会を開いています。この勉強会では、これまでの参加者のニーズをまとめた形として、TPP交渉に代表されるグローバル化を背景とした自由貿易を促進する通商交渉など、私たちの暮らしに影響する様々な政策等について、私たち市民が広く関心を持てるよう地域間のネットワーク強化に取り組んでいます。現在では、主に垂井、岐阜、瀬戸、名古屋、刈谷の有志でネットワークを形成しており、特に名古屋の取り組みとしては、TPP勉強会、それに関連した講座企画のほか、このネットワーク全体のコーディネイトとそのための会議を継続的に開いています。

自主講座

名古屋NGOセンターのTPP勉強会では、TPPだけでなく、私たちの暮らしに影響するグローバル化を背景とした様々な政策に対し、私たち市民が広く関心を持てるよう地域間での情報交換やイベント等の相互支援など、ネットワークの構築、強化に取り組んでいます。その中で、特に名古屋では各地域の取り組みにおける様々なアイデア、成果、課題等の情報交換、また、TPP交渉をはじめとする社会情勢とその対応等について、顔の見える形で交流、検討できる自主講座を開いています。

TPP勉強会自主講座



☀ TPP勉強会、第3弾のトピックは農。

岐阜県御嵩町で伝統的な農法を取り入れた「人にも環境にも優しい持続可能な農業」をめざす永谷農園さん。育てた野菜をただ届けるのではなく、届ける相手との顔の見えるつながりや共感を大切にするという永谷さんの取り組みから、グローバル資本主義に振り回されない“へっちら”なつながりづくりのヒントをさがります。

🍷 おしながき

- ①TPP関連情勢のアップデート
報告：西井和裕さん(名古屋NGOセンター 理事長)
- ②ワークショップ
リソースパーソン：永谷香さん(永谷農園)

日時：2014年11月15日(土)午後1時～5時

場所：オープンアトリエ ちいさな鳥

岐阜県岐阜市安良田町5-5

(JR岐阜駅徒歩15分、名鉄加納駅徒歩1分)

<http://www.chiisanatori.com/mapschedule>

参加費：500円

主催：市民と政府のTPP意見交換会 愛知&岐阜実行委員会
(TPPへっちらネット)

参加申込・問合せ：E-mail: info@tpp-nagoya.greenwebs.net

TEL&FAX: 052-228-8109 特活・名古屋NGOセンター

(火～土 午後1時～5時)



へっちらネットのメンバー

NPO 職員、自治体および自治体関連団体職員、会社員、フェアトレードショップ店員、住職など多彩なメンバー構成。実働メンバーは約 10 名で、会議の進行、自主講座でのファシリテーション、WEB 担当、チラシデザイン・キャッチコピーの考案、会計など、それぞれの個性を活かして役割分担。随時メンバー募集中。

へっちらネット 今までの流れ

2012 年

- 3 月 第 1 回 TPP 勉強会（講師は AM ネット理事の神田浩史さん）
- 5 月 食と農をテーマに勉強会（会場は名古屋市内）
- 7 月 大阪の全国実行委員会をテーマに勉強会（会場は名古屋市内）
- 8 月 医療をテーマに勉強会（会場は名古屋市内）
- 10 月 今後の活動をテーマに勉強会（会場は名古屋市内）
- 12 月 市民と政府の TPP 意見交換会を実施（政府関係者 3 人が来名、会場は一宮市 i ビル内）

2013 年

- 1 月 岐阜との合同勉強会（会場は岐阜市ハートフルスクエア内）
- 5 月 TPP 全国フォーラム実施（会場は、名古屋市 YWCA ビル内）
- 11 月 フォーラム第 2 弾実施（会場は、一宮市 i ビル内）

2014 年

- 1 月 TPP 自主講座「地域自立に向けた暮らしを考える講座」を開催（会場は、刈谷市産業振興センター内）
- 7 月 TPP 自主講座「持続可能なビジネスの胎動に耳を澄ませ」を開催（会場は、一宮市 i ビル内）

*名古屋勉強会以外にも、瀬戸、垂井、刈谷等の地域での TPP 勉強会と連携、またストリートやデモ活動、政党（緑の党）とも情報交換をしている。

へっちゃんらネットのあゆみ

2011/3/7
第1回 TPP 勉強会(入門編)

2012
5/22 第2回 TPP 勉強会(食と農)
7/20 第3回 TPP 勉強会(大阪報告会)
8/24 第4回 TPP 勉強会(医療編)
10/15 第5回 TPP 勉強会(活動展望)

2012/5/22 東京
市民と政府の TPP 意見交換会
6/9 大阪
市民と政府の TPP 意見交換会

2012 12/17
名古屋・岐阜
市民と政府の TPP 意見交換会
(参加者 86名)

刈谷

垂井

瀬戸

ストリート活動

2013 名古屋主催
5/11 TPP を考える全国フォーラム
「TPP ウォッチャー志願者のためのオープンフォーラム」
11/6 TPP を考えるフォーラム第2弾

岐阜

2014 /1/13(月・祝) 自主企画
「地域自立に向けた暮らしを考える講座」

TPP 無効特区はたけプロジェクト (facebook : <https://www.facebook.com/TPPhettyarahatake>)

14年度より、豊明市の休耕地で試験的に作付けを開始。サツマイモ、スクワッシュ、ネリカ米「陸稲」、大豆を収穫。畑での作業と収穫物の有効利用で新たなコミュニティ形成を目指す。

市民と政府の意見交換会全国実行委員会との連携

市民と政府の意見交換会 ～TPPを考えよう～

<http://tpp-dialogue.blogspot.jp/>